

第4学年 組 外国語活動学習指導案

授業者

1 単元名 Let's Try! 2 Unit7 What do you want? 「ほしいものは何かな？」

2 指導にあたって

本学級は、男子 名（うち交流学級児童 名）、女子 名（うち交流学級児童 名）の計 名が在籍する。3年生では、果物や野菜、色や形、数の英語表現に慣れ親しんできた。4年生では、これまでに世界の挨拶や好きな遊び、曜日や時間、文具の英語表現に慣れ親しんできた。また、映像から聞き取りをしてノートに書きとったり、自分の好きなものを伝えたりして活動してきた。外国語活動の時間では、ゲームに取り組んだり、チャンツのビートに合わせて歌ったりすることに積極的に取り組む児童の姿がみられる。一方で、外国語活動に対して「何を言っているのか意味がわからない」「英語がわからないから、楽しくない」という消極的な発言や、間違えることへの不安から「恥ずかしいからやりたくない」という態度も見られる。これらは、児童自らが「意味は分からないけどこんなことを言っているのかな」と推測して状況を把握しようとする能動的学習となるような明確な目的の設定がなされていなかったり、何度も繰り返し練習した語彙や表現を言えたらよいとするような語彙や表現をオウム返しする目的をもたない授業であったりしたことが原因と考えられる。また、「忘れた」「なんだっけ」というような児童の姿もみられることから、学習の定着が図れていないことにも課題があると考えられる。

このことから、語彙や表現としてだけでなくそれらを普段の場面ではどのように使っていくのかという「明確な目的をもったやり取りの場の設定」が必要であると考えた。また、新たに学んだ表現だけでなく、既習の表現を繰り返し使うことができるように、学んだ表現を使ってやり取りする場面を設定し、学習の定着を図る授業づくりを行っていききたい。

4年生の外国語活動も後半に入っているこの時期、児童はずいぶん英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達と指導者と簡単なコミュニケーションを図る体験を積み重ねてきている。そこで、それを踏まえ、本単元では、児童がこれまでに慣れ親しんだ語彙や表現を使って、児童同士で二往復以上のやり取りをするよう活動を設定する。何往復かのやり取りを経験し、言葉で通じ合うことの楽しさを十分に感じさせたい。二往復以上のやり取りを実現するために、題材を児童の興味・関心が高い食材とし、「相手の好むものを作る」という活動を仕組むことで、児童は相手意識、目的意識をもってやり取りすることができる。取り扱う言語材料は“What do you want?” “I want~, Please.” “How many?” “Do you like~?” とし、これまでに慣れ親しんだ表現を用いる場面を設定する。また、“What do you want?” “~, please.” はすでに3年生で慣れ親しんでいるので、本単元では答え方を文表現とする。このことは、5年生以降で、教科書を読む際に文の構造への気付きにつながっていくことが期待される。

単元の指導にあたっては、児童がこれまでに慣れ親しんだ語彙や表現を使って、児童同士で二往復以上のやり取りを相手意識、目的意識をもって、尋ねたり答えたりすることをねらいとする。そのために、導入では絵本の読み聞かせをして食べ物への関心をもたせ、出てきた食材等を使いながら担任とALTのやり取りを行うことで活動への意欲を高めて見通しをもたせる。展開では楽しいゲームを取り入れた英語活動を行い、英語表現に十分に慣れ親しませるようにする。さらに、主なやり取りの場面では相手意識、目的意識をもって活動する児童をモデルとして提示し、価値づけすることでさらに活動への具体的なイメージをもたせ、意欲的に相手意識、目的意識をもって活動できるようにする。

3 単元の目標

食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり、要求したりする言い方に慣れ親しみながら、欲しい食材などについて伝え合うことができる。

4 関係する領域別目標

「聞くこと」

イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。

「話すこと[やり取り]」

ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと[やり取り]	果物や野菜など身の回りの食材の言い方について、 What do you want? I want～.How many?～,please.等を用いて、相手が好むパフェやピザの食材について尋ねたり答えたりする文表現に慣れ親しんでいる。	学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝え合っている。	学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画(全5時間)

時	目標◆・学習活動【】	○教師の手立て	知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準 ○学習状況の確認内容と方法
1	◆野菜・果物の言い方や、欲しいものの言い方を知ろうとしている。					
	【Reading story books】 ・絵本の読み聞かせを行い、活動への意識を高める。 ・やり取り場面のデモンストレーションから、単元のめあてをもつ。 【Practice】 ・絵カードを使って、野菜や果物の言い方を知る。 【Games】 ・ポインティングゲーム ・ディスティニーゲーム(野菜・果物)	○食材への興味をわかせるために、児童に親しみのある果物や野菜が出てくる絵本を読む。 ○場面をイメージできるようにするために、具体物を使ってデモンストレーションを行う。 ○絵と音声とをつなぐために、絵カードを使用する。 ○楽しく食材の言い方に慣れ親しませるために班活動を仕組み、動きを入れた聞く活動を行う。 ○絵と音声をつなぎながら食材の言い方に慣れ親しませるために、絵カードと同じイラストのワークシートを使い何度も聞く			聞	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。ここでは、児童の発言・様子やワークシート・振り返りカードから、おもに聞くことの主体的に学習に取り組む態度についてみとる。

		活動を仕組む。				
	◆欲しいものを尋ねたり、要求したりする言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり、答えたりする。					
2	<p>【Let's Watch and Think】 P27</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、世界の市場と日本の市場をくらべながら、相違点や共通点に気付く。 <p>【Let's chant】</p> <p>What do you want? P27</p> <ul style="list-style-type: none"> ビートに合わせて What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. という尋ね方と答え方を何度も聞いたり言ったりして、慣れ親しむ。 <p>【Let's Listen1】 P28</p> <ul style="list-style-type: none"> 4人の話を聞いて、紙面のパフェの中からそれぞれのパフェを選んで線で結ぶ。 <p>【Game】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミッシング・ゲーム (野菜・果物) 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の市場と日本の市場の違いや似ているところに気付かせるために、実際の市場の様子を映像で見せる。 食材や尋ね方と答え方の表現に慣れ親しませるために、繰り返し聞く活動を設定する。 見通しをもたせるために、音声を聞く前にどのような果物がのっているのかを問う。 聞く活動から話す活動に慣れ親しませるために、黒板に貼っている絵カードを何枚か隠し、隠れた食材を英語で答える(話す)ゲームを行う。 	や			<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。ここでは、児童の発言・様子や教科書・振り返りカードから、おもに話すこと[やり取り]の知識・技能についてみとる。</p>
	◆欲しいものを尋ねたり、要求したりする言い方や、いくつ欲しいか数を尋ねる言い方や答え方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり、答えたりする。					
3	<p>【Let's chant】 What do you want? P27</p> <ul style="list-style-type: none"> ビートに合わせて What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. という尋ね方と答え方を何度も聞いたり言ったりして、慣れ親しむ。 <p>【Let's Listen2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食材の英語の音声を聞き、缶詰のイラストと文字を線で結ぶ。 <p>【Games】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミッシングゲーム(野菜・果物) ペアビンゴゲーム (野菜・果物・数) 	<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものと数の尋ね方、答え方に慣れ親しませるために、聞く活動と話す活動を取り入れる。 見通しを持たせるために、音声を聞かせる前に会話のイラストについて何を示しているかを確認する。 食材の言い方や好きなものを言う表現を思い出させるために、聞いて終わるだけでなく、教師と児童との間で児童自身の好きな野菜を尋ねながらやり取りを行う。 複数の表現に慣れ親しませるために、食材だけでなく、数を尋ねたり、答えたりする言い方も加える。 	や	や		<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。ここでは、児童の発言・様子や教科書・振り返りカードから、おもに話すこと[やり取り]の知識・技能と思考・判断・表現についてみとる。</p>
	◆学級の友達に配慮しながら、欲しい食材などを尋ねたり要求したりして伝え合う。					

<p>4 本時</p>	<p>【Watch】 ・やり取り場面のデモンストレーションから、本時のめあてをもつ。</p> <p>【Activity1】 P28 ・相手が選んだ果物で相手のためにパフェをつくる活動に取り組む。</p>	<p>○本時することのイメージを具体的にもたせるために、第1時のデモンストレーションを行う。</p> <p>○場面をイメージして活動させるために、具体物を準備する。</p> <p>○二往復以上のやり取りを児童が取り組めるようにするために、食材を選ぶだけでなく、その果物が好きかどうかのやり取りをしているペアを称賛したり、全体で児童同士のやり取りを紹介したりする。(中間評価)</p>	<p>や や や</p> <p>「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価</p> <p>◎果物や野菜など身の回りの食材について、 What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.などを用いて欲しいものを尋ねたり、答えたりする文表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>○行動観察・振り返りシート記述点検</p> <p>◎学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝えあっている。</p> <p>○行動観察・振り返りシート点検</p> <p>◎学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝えあおうとしている。</p> <p>○行動観察・振り返りシート点検</p>
<p>5</p>	<p>◆学級の友達に完成したパフェやピザを紹介する。</p> <p>【Let's Listen2】 P29 野菜について聞いて、絵に合うアルファベットを選んで線で結ぶ。</p> <p>【Activity1】 P29 ・相手が選んだ野菜で相手のためにピザをつくる活動に取り組む。</p>	<p>○場面をイメージして活動させるために、具体物を準備する。</p> <p>○二往復以上のやり取りを児童が取り組めるようにするために、食材を選ぶだけでなく、その果物が好きかどうかのやり取りをしているペアを称賛したり、全体で児童同士のやり取りを紹介したりする。(中間評価)</p>	<p>や や や</p> <p>「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価</p> <p>◎果物や野菜など身の回りの食材について、 What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.などを用いて欲しいものを尋ねたり、答えたりする文表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>○行動観察・振り返りシート記述点検</p> <p>◎学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝えあっている。</p> <p>○行動観察・振り返りシート点検</p> <p>◎学級の友達の好きなパフェやピザを作るために、相手の欲しいと思う果物や野菜などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝えあおうとしている。</p> <p>○行動観察・振り返りシート点検</p>

7 言語材料

【やり取り】	
<p>パフェ</p> <p>A : What do you want? B : I want (strawberries), please. A : OK. How many strawberries? B : Three please. A : Three? OK. Here you are.</p>	<p>ピザ</p> <p>A : What do you want? B : I want (potatoes), please. A : OK. How many potatoes? A : Three please. B : Three? OK. Here you are.</p>

8 本時 令和3年10月 日 () 第5校時 音楽室において

(1)目標

学級の友達に配慮しながら、欲しい食材などを尋ねたり要求したりして伝え合う。

【思考・判断・表現】

(2)準備

電子黒板, 果物の絵カード (掲示用), 果物の絵カード (児童用), 指し棒

(3)本時の展開

段階	学習活動・内容	教師の手立て(○)・評価規準(◇)	
		HRT(T1)	ALT(T2)
導 入	1. あいさつをする。 【Greeting】 ・ Hello. ・ How are you today? ・ How is the weather?	○意欲的に活動できるようにするために、既習の表現を使って児童とあいさつのやり取りをする。	○意欲的に活動できるようにするために、既習の表現を使って児童とあいさつのやり取りをする。
	2. 果物の単語を予想して言う。 【Class brainstorm】 ・ It's apple. ・ It's orange. ※複数・単数は扱わない	○児童自らが推測し、単語(言葉)を印象的・効果的に楽しく学習するために、児童から答えを引き出す。	○児童が進んで推測できるようにするために、困っていたらヒントを与える。
	3. 既習の内容を振り返り、本時のめあてを確認する。 【Today's goal】	<めあて> 友達のために、相手の好きなパフェをつくってプレゼントしよう。	
	4. デモンストレーションを見て、本時のやり取りの表現を知る。	○見通しをもたせるために、具体物を用いてT2とパフェ作りのやり取りの様子デモンストレーションを行う。	○見通しをもたせるために、具体物を用いてT1とパフェ作りのやり取りの様子デモンストレーションを行う。
T1 : Hello. T2 : Hello. This is parfait shop! T1 : Oh, parfait shop? T2 : Yes. I have many fruit and ice-cream! What do you want? T1 : I want strawberries, please. I like strawberries. T2 : Oh, you like strawberries. O.K. How many strawberries? T1 : Three strawberries, please. T2 : Three ? O.K. What do you want? (やり取りを繰り返す) Here you are. T1 : Thank you very much! Bye! T2 : Bye!			

		<p>○よりよいやり取りを行うために、やり取りのポイントを押さえる。</p> <p>〈ポイント〉 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に好みの果物を聞く ・数を聞く <p>〈キラキラポイント〉 方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクト ・ジェスチャー 	
展 開	<p>5. 活動</p> <p>【Activity】</p> <p>・ペアに分かれ、お店屋さんと客に役割を分担し、パフェのやり取りをする。</p> <p style="text-align: right;">【聞く・話す】</p>	<p>○見通しを持たせるために、活動の流れについて、確認を行う。</p> <p>○目的や場面・状況等に応じて、相手との対話の中で見出した課題や解決策を考えたり、身に付けた思考力を発揮するために、やり取りを中断し、中間評価を行う。</p> <p>○どうしたらやり取りがよくなるかを考えさせるために、「うまくいったこと」や「うまくいかなかったこと」を出し合わせる。</p> <p>◇学級の友達の好きなパフェを作るために、相手の欲しいと思う果物などの食材についてや、相手がどのくらいの数の食材が欲しいのかについて、相手の欲しいものを尋ねたり、答えたりして伝え合っている。</p> <p style="text-align: center;">【様相観察・振り返りシート】</p>	<p>○児童が、よりよくやり取りできるようになるために、やり取りをする中で、気付いたことやどんな風に英語で表現したらいいのかについて困っている児童の支援にあたる。</p>
終 末	<p>6. ふり返りを行う。</p> <p>【Reflection】</p> <p>(1)ふり返りシートに本時のふり返りをする。</p> <p>(2)感想を発表し合う。</p>	<p>○本時の学習をふり返り、次の学習への意欲をもたせるために、気付いたことやこれからもっと知りたいことなどについて共有する場を設定する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈まとめ〉</p> <p>「want」をつかってやり取りをすると、相手の欲しいものを尋ねたり、自分の欲しいものを答えたりして伝え合うことができる。</p> </div>

9 板書計画



Greeting
あいさつ

Class brainstorm
ほもうずら

Demonstration
ひょうしん

activity
かつどう

Reflection
ひかきあひ

Today's goal
(めあて)

友達のために相手の好きなパフェ
をつくってプレゼントしよう。

たずねかた

なにがほしいですか？

いくつほしいですか？

Today's learning
(まじめ)

「**What do you want?**」をつかってやり取りを
相手の欲しいものを探したり、自分の欲しいものを
答えたりして伝え合うことができる。

Key sentence
(たいじぶん)

What do you want?

I want ().

How many ()?

(), please.

こたえかた

()がほしいです。

()ください。

果物・野菜

キラキラポイント

gesture

eye contact

注意点

- ① ヘアでやり取りをします
- ② お友達さんとお客さんをお見します
- ③ 言葉が合図をするまで、じっと見ます
- ④ 笑顔・笑顔で話します

お客様は、先生の言葉や、顔を見て、お話を聞いてください。

パフェやピザをつくろう

パフェやピザをしようかしよう